

各施設ともに大盛況 //



浪江の`伝統の技と味、を発信

道の駅なみえ「道の駅なみえ」グランドオープン



内堀福島県知事が視察 //



門出を祝う生け花(華道家・假屋崎省吾さん制作) //



うけどんの`鉄ふた、登場



地場産品販売施設「なみえの技・なりわい館」西側に、`うけどんデザイン、の消火栓用鉄ふたが設置されました。町の花「コスモス」と笑顔のうけどんが描かれています。

「福島学院大学」が試作品(クッキー)を無料配布

3月17日、浪江町と福島学院大学・福島学院大学短期大学部は、「包括連携協定」を締結しました。地域産品を活用した商品開発や、町と大学間の人材交流などに取り組むこととしており、早速、20日の「道の駅なみえ」グランドオープンにおいて、鈴木酒造店の酒かすを使ったクッキー「フルーツパー」の試作品を、来場者に無料配布しました。



3月20日、浪江町の`復興のシンボル、「道の駅なみえ」が、大堀相馬焼と地酒を専門に扱う地場産品販売施設「なみえの技・なりわい館」を加え、待望のグランドオープンを迎えました。

「大堀相馬焼エリア」では、原発事故により避難を余儀なくされた「大堀相馬焼協同組合」の窯元。そして「地酒エリア(酒蔵)」では、東日本大震災の津波により全ての酒蔵を流失し、避難先の山形県長井市に拠点を移して酒造りを続ける老舗「鈴木酒造店」が、共に十年ぶりに浪江町に`帰還、し営業を再開。陶芸体験や酒造りの工程見学、さらには搾りたての日本酒を味わうこともできる`体験型、の施設となっています。

また同日、地域振興施設「本館」にも、道の駅への出店が`全国初、となる「無印良品 道の駅なみえ」が開店。

浪江の歴史や文化に触れられる施設から、国内外で高い支持を得る人気店までそろい、町民の皆さんをはじめ、県内外からも注目を集めていたこともあり、当日の来場者は約4,000人を数えました。

